



青木の風

生きる 創る そして輝く

学校だより 10月号

令和5年9月29日

横浜市立青木小学校

創立150周年に向けて

副校長 神田 記子

記録的な暑さだった7月から9月初旬に比べると、やっと秋がやってきたと思える涼しさ、心地よさを感じるようになりました。学校では、スポフェスに向けて演技やプロジェクトの取り組みが始まり、一気に雰囲気盛り上がってきています。

今年、青木小学校は11月15日に創立150周年を迎えます。昨年、職員と学校運営協議会委員の皆様を中心に準備を進めてまいりましたが、11月10日（金）の全校でお祝いする会に向けて、子どもたちも企画・準備を進めています。先日、5月から2度の延期をしていた航空写真撮影が無事に終わりました。校庭に並んでいるとどんなふうに見えるのか分からないので、出来上がりを見るのが楽しみです。

さて、この歴史ある青木小学校に着任して私が一番驚いたのは、1945（昭和20）年の横浜大空襲により校舎が全焼した、という話です。横浜市内の小学校では、5月29日の前後の時期にこの横浜大空襲を取り上げて児童に話をするので、よく知っているつもりでした。自分が着任した学校が、まさにその被害を直接的に受けていたことを聞き、戦争の影響を一気に身近に感じました。（様々な資料が焼失してしまったため、戦前のことはわからないことも多い、ということもお聞きしました。）

もう一つ驚いたのは、創立140周年記念誌を見せていただいた際に、校庭の真ん中にプールがあったという話です。1937（昭和12）年に新設されたプールは、市内の小学校では珍しかったようですが、その後、学校の敷地が拡張されたことにより、運動場の真ん中になったとのこと。しかも、プールを使わない時期には、木でふたをして、運動場の一部として使えるようにしたというからさらに驚きです。

そして今回、150周年を迎えるにあたり、改めて強く感じていることは、卒業生や地域の皆様の青木小学校への思いの深さです。母校として、地域の学校として、多くの方々が青木小学校を愛し、支えてくださっているのを見るにつけ、150年の重みを感じています。

ちなみに、青木小学校の戦前の様子については、150周年記念事業の中で記念誌の制作にあたり、横浜市の図書館や開港資料館など、様々なところから多数の資料を探して調べていただきました。青木小の150年の歴史をかなり詳しく掲載する予定ですので、ぜひこちらも楽しみにしていただければと思います。

今年はすべての行事に150年を意識した言葉やイメージが入っており、節目の年をお祝いしながら行事を創り上げていくことにしています。青木小学校を支えてくださっている方々の思いを受け継ぎながら、また新たな歴史を紡いでいけるよう、子どもたちとともに取り組んでまいります。